

「にんたまラーメン」ゆにろーず

金沢・宇都宮に進出

幹線道沿い、店舗倍増へ

ラーメン店チェーンのゆにろーず(茨城県鹿嶋市、大野秀三社長)は関東地域を拡大する。店舗である茨城、千葉、埼玉に加え、三月は新潟県、四〜八月は宇都宮市へ進出。主要顧客であるトラック運転手の人気が高いため、全日本トラック協会の提携を受け、秋の地域への出店を断財する。二〇〇九年十一月期中に店舗を現在の倍近い二十五店舗を増やす。

トラック協会が出店要請

ゆにろーずは二〇〇七と断財入れた二にんたまラーメンのイメージで知られており、三、四十代の層性のトラックドライバーの主要顧客としていた。

深夜 200円のラーメンなどメニューも特徴(水戸市内の店舗)



金沢市の新店はトラック協会関連の休養施設である。トラック・メッセ・センターの西に建設された市内を走る野幌道。国道沿いの好立地で無料駐車場の広いことが特徴。

同社は〇六年に茨城県小美玉市にある「るに」

初出店した際、売り上げを大きく伸ばした店舗がある。以来、トラック協会からの出店依頼が来るようになった。宇都宮市では別荘街が連綿するフランチャイズ(FCC)店です。

二れを念め、新規出店では建物の見えやすさ、入りやすさ、交通量などを協会の手法で数値化して検証性を高め、候補物件を絞り込む。営業地域の拡大に加え、食

後社を活用して入替やコストを減らすには計画を練り進んでいる。同社の店舗数は〇七年十一月期時点で十四店舗。一連の出店戦略で、〇九年十一月期には三十五店舗を増やす計画が発表された。〇七年十一月期は十六店舗を、〇九年十一月期には二十五店舗まで伸ばす目標を掲げている。